



### 【1】 一種研開催報告

2025年12月の一種研を12月11日(木)の午後に機械振興会館で開催しました(写真1)。今回は、4件の一般講演がありました。その後、IEEE AP-S Tokyo Chapter 2025年活動報告とA・P研表彰式が行われました。また、一種研と並行して顧問会が行われました。

最後に、懇親会が行われました(写真2)。AP-S Tokyo Chapter Chairの高橋さんからは、Senior memberへの昇格のお誘い、iWEM2026(8/26-28農工大)の開催のお知らせがありました。そして、顧問の先生の長寿の紹介や、各賞を受賞された方々のご紹介と受賞の挨拶、AP研の2026年度新執行部に加わった方々の挨拶がありました。



写真1 一種研の様子(機械振興会館)



写真2 懇親会での集合写真

### 【2】 A・P研表彰報告

一種研の中で、A・P研の表彰式を行いました。受賞者の方々を以下に紹介します(敬称略)。受賞された皆様、おめでとうございます。

#### ◆2025年度上期 若手奨励賞・学生奨励賞

- ・若手奨励賞(2名): 青木 宏樹(KDDI 総合研究所), 大橋 諒太郎(村田製作所)
- ・学生奨励賞(5名): 四方田 誠人(新潟大), 湯浅 一暉(横浜国大), 長岡 裕(拓殖大), 中西 良樹(同志社大), 吉岡 颯太郎(岩手大)

#### ◆2025年8月発行 EB 八木宇田100周年特集号におけるAP研論文賞

- ・Chino Kobayashi, Hiroyoshi Yamada, Ryoichi Sato, and Motofumi Aarii, "Modified Four-Component Scattering Power Decomposition of PolSAR Data by Using Rotated Dihedral Component," IEICE Trans. Commun., vol. E108-B, no. 8, pp. 902-912, Aug. 2025.

### 【3】 2026年度執行部, 各種委員会体制

12月11日(木)の午前に2025年度下期専門委員会が開催されました(写真3)。来年度の執行部体制と各種委員会委員長および来年度の一種研開催計画などが承認されました。また、2025年6月に「伝搬DB委員会」の名称が「伝搬研究推進委員会」に変更されたのにもない、規程の修正が承認されました。

#### ◆2026年度アンテナ・伝播研究専門委員会執行部体制(敬称略)

- ・委員長: 今井 哲朗(東京電機大, 留任)
- ・副委員長: 大島 一郎(電気興業, 留任)



写真3 2025年度下期専門委員会

- ・幹事：廣瀬 幸(九州工業大, 留任), 佐藤 啓介(電気興業, 新任)
- ・幹事補佐：村田 健太郎(岩手大, 新任)

◆2026年度各種委員会体制(敬称略)

- ・WS常設委員会委員長：西山 英輔(佐賀大, 新任)
- ・論文委員会委員長：笹森 崇行(北海学園大, 新任)
- ・アンテナの歴史委員会委員長：大島 一郎(電気興業, 留任)
- ・表彰委員会委員長：道下 尚文(防衛大, 留任)
- ・国際委員会委員長：日景 隆(北大, 留任)
- ・伝搬研究推進委員会委員長：北 直樹(東京電機大, 新任)
- ・AMT研究会委員長：平野 拓一(東京都市大学, 新任)

#### 【4】AMT研開催報告

12月18日(木)に沖縄県那覇市にてAMT研究会が開催されました。年末の忙しい時期、かつ遠方にもかかわらず9件の発表があり、現地26名、オンライン3名の計29名という大勢の方に参加いただきました。皆様の沖縄(松〇交差点?)に対する深い思いを感じました。翌日にはチュートリアル講演が行われ、Rohde & Schwarz JapanのElfie様、広島大学の天川先生にご講演いただきました。Elfie様からは自動車全体の2Dパターンを測定する装置等を紹介いただき、地面方向の放射パターンまで測定する大規模装置に驚かされました。天川先生からはSパラメータ測定の基本から、オンウェー測定ノウハウまで大変勉強になる内容をわかりやすくご講演いただきました。お二方にはここで感謝申し上げます。

幹事の吉本様と下名は今回の研究会でAMT執行部は卒業になりますが、引き続きAMT研、AP研を盛り上げていきたいと思っておりますので皆様よろしく願いいたします。(AMT研深沢委員長執筆)



写真4 AMT研究会の様子

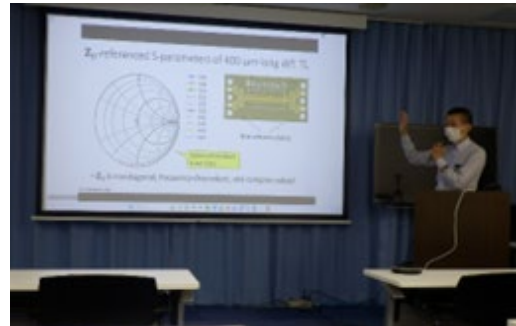


写真5 チュートリアルワークショップの様子

#### 【5】副委員長の戯言

◆ボーナス

12月と言えば、冬のボーナスですが、日本経済新聞社の調査によると、ボーナスの1人あたり支給額は前年比6.40%増の102万9808円となり、初めて100万円台に乗ったと話題になりました(ただし上場企業中心に487社が調査対象)。増額の主な理由は、「給与水準(基準内賃金など)の上昇」であり、3年連続で過去最高を更新中です。一方で、中小企業を含めた民間企業の平均額は42万円との調査もあり、企業の現実は厳しいです。会社によっては冬のボーナスを廃止し、その分を給与に上乗せして給与水準を高くしているところもあるようです。会社にとっては月給が見かけ上高くなり、従業員にとっては業績に関わらず一定額が保障されるというメリットがあると思います。特に学生は、給与の高い会社への就職を希望する傾向にあると思いますが、給与体系をよく調べて会社選びをする必要がありますね。

〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長 大島 一郎(電気興業)

E-mail: ap\_ac-chair@mail.ieice.org (A・P研執行部のメールアドレス)

AP-NET: A・P研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録はA・P研HPにて

A・P研HP: <https://www.ieice.org/cs/ap/>

